

PIANO CONCERTO & OPERATIC ARIAS

〈ピアノ協奏曲とオペラアリアのタベ〉

No.5

1984年 **12**月**24**日(月)午後**6**時**30**分開演

於 / 都市センターホール

制作 / 柴田音楽事務所

～プログラム～

I部 オペラアリア

■「魔笛」より第1幕 パミーナとパパゲーノの二重唱〈モーツァルト〉

「フィガロの結婚」より第3幕 伯爵とスザンナの二重唱

………… Sop. 辻悦子

Bar. 堀部一寿

■「カプレティ家とモンテッキ家」より“おいしくたびか”〈ベルリーニ〉

………… Sop. 太田悦子

■「ラ・ボエーム」より“私の名はミミ”〈ブッチーニ〉

「夢遊病の女」より“この花よ、こんなにしぼんでしまうとは”〈ベルリーニ〉

………… Sop. 杉本睦美

■「友人フリッツ」より“小さな花束”〈マスカーニ〉………… Sop. 武田若菜

■「カルメン」より“ミカエラのアリア”〈ビゼー〉………… Sop. 奥村昌見

■「アドリアーナルクヴルール」より“苦い悦び、甘い苦しみ”〈チレア〉

………… M. Sop. 宇佐美敏子

■「ランメルムーアのルチア」より“あたりは沈黙に閉ざされて”〈ドニゼッティ〉

………… Sop. 田中純子

■「ジャンニ・スキッキ」より“私のお父さん”〈ブッチーニ〉

「リゴレット」より“慕しき御名は”〈ヴェルディ〉………… Sop. 宮前治子

■「リゴレット」より第3幕 ジルダとリゴレット・マッドレーナと公爵の四重唱

〈ヴェルディ〉………… Sop. 中村明子

M. Sop. 細越涼子

Ten. 渡辺康宏

Bar. 仁科岡彦

指揮／内藤 彰

管弦楽／新星日本交響楽団

～PROGRAM～

II部 ピアノ協奏曲

■ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 Op. 15 <ベートーヴェン>

第1楽章 アレグロ コン プリオ

第2楽章 ラルゴ

第3楽章 ロンド：アレグロ スケルツアンド

Piano：高橋久仁子

■ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K. 488 <モーツァルト>

第1楽章 アレグロ

第2楽章 アダージョ

第3楽章 アレグロ アッサイ

Piano：小澤英世

今年もまた年の瀬が近づいて参りましたが、皆様にはますます御健勝の御事と存じお慶び申し上げます。本日は御多忙の中をわざわざご来聴下さいまして、誠にありがとうございます。出演者、スタッフに代りまして厚く御礼申し上げます。

+ + + + + + + + + +

今夜の会は〈ピアノ協奏曲とオペラアリアの夕べ〉と題しまして、第5回目を迎える事が出来ました。これも一偏に皆様のご支援の賜と深く感謝致しております。今回はピアニスト・ヴォーカリストの若手とベテランの方達にご出演願ひまして、演奏していただく事になりました。どうぞフレッシュな演奏をごゆるりとご鑑賞下されば幸甚に存じます。

なお、紙面の末尾になりましたが、今日ご出演のソリストの方達にも今夜に限らず今後とも絶大なご支援を賜ります様切に願ひます。

1984年12月

柴田音楽事務所

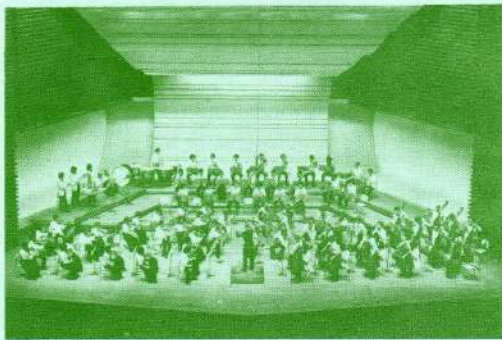
出演者プロフィール 〈出演順〉



内藤 彰 (指揮)

名古屋大学理学部卒業、在学中より指揮を山田一雄氏に師事、昭和51年桐朋学園大学研究科(指揮専攻)修了。同大学にて指揮を尾高忠明、秋山和慶、小沢征爾、堤俊作、岡部守広、フランコ・フェラーラの諸氏に師事。新日フィル、東フィル、東響、新星日響、東京シティ、神奈川フィル、九響、群響、日本合唱協会、東京オペラ研究会などを指揮し、二期会のオペラ公演で、副指揮をつとめる。1980年4月より1983年3月まで山形交響楽団の指揮をする。

1980年8月ハンガリーに於いてサヴァリア交響楽団を指揮し、好評を博す。若手指揮者として着実に活動の輪を広げつつある。1984年4月よりプロ合唱団“東京合唱協会”を発足し、音楽監督及び常任指揮者となる。



新星日本交響楽団 (管弦楽)

新星日本交響楽団は、1969年音楽大学を卒業したばかりの若い音楽家を中心に創立されました。本年6月で16年目に入ったこのオーケストラは、創立以来一貫して「聴く人々と共に作りあげる音楽」を大切にしてきました。それは、生きることの意味をしみじみ考えさせてくれる、人間的な演奏こそが真実の音楽であるという信念にもとづいていたからです。そうした、楽員たちのひたむきで真摯な姿は、多くの人々の共感を生んでいます。

「新星日響」は、オペラやバレエの分野でも大きな役割を果たしてきました。国内のほとんどのオペラ、バレエ団と共演し、世界最高といわれるボリショイ・バレエ団の来日公演でも共演しています。また、演奏活動で特筆すべきことは、日本人作曲家のオーケストラ作品を積極的に演奏してきたことです。自分たちの「うた」として日本人作品を演奏する姿勢は作曲家・聴衆の共感を生んでいます。こうした成果の上に1981年3月財団法人化を達成し、団の基盤を安定させ、あわせてオーケストラに課せられた社会的使命を果たすべく活動をくり広げています。



辻 悦子 (ソプラノ)

桐朋学園大学短期大学部芸術科音楽専攻卒業。尚美高等音楽学院研究科、同研究室員修了。西義一氏に師事。尚美オペラにて「つばめ」(リゼット)、「こうもり」(イーグ)で出演し、Kaul-Quappeでは、「あまんじゃくとうりこひめ」(あまんじゃく)を始め、イタリア・デュオ・コンサート等、毎年演奏活動を行っている。現在、東京コンセールヴァートワール尚美副手。



堀部 一寿 (バリトン)

尚美高等音楽学院教育科、同研究科卒業。在学中、こんにやく座オペラ教室、長門美保歌劇団合唱部等に所属。こんにやく座オペラ教室の卒業公演では、「あべこぶらツイスト」(初演)、「ねずみ達の伝説」に出演。また学生オペラで「フィガロの結婚」(フィガロ)「ジャンニ・スキッキ」(マルコ)に出演の後、茨城オペラ「魔笛」(ザラストロ)で本格的デビューをする。今年IMA SオペラチャリティーコンサートVで「コシ・ファン・トウツテ」(ドン・アルフォンゾ)のハイライト、IMA Sオペラ公演「魔笛」(文化庁芸術祭参加公演)にてババゲーノを演じ、他にもモーツァルト「戴冠ミサ」のソリスト、筑波パ・ホールでのオーケストラ・コンサートなど、地道な活動を行なっている。



太田 悦子 (ソプラノ)

国立音楽大学声楽科卒業。波多野靖祐氏に師事。59年4月静岡県新人演奏会出演。



杉本 睦美 (ソプラノ)

国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。昭和58年、神奈川県新人演奏会出演。昭和58年、第1回プリエの会出演。昭和58年、シュワルツ・コップ公開レッスン受講。太田和男、小川哲生、中村健、ヤンポッパー諸氏に師事。



武田 若菜 (ソプラノ)

自由学園女子最高学部卒業。東京声専音楽学校及び東京音楽大学専修科在学中。菊池美樹子、栗林義信、滝沢三重子、五日市田鶴子諸氏に師事。ウィーン及びインスブルックにて「日本音楽の夕べ」に出演。JOPA演奏会に出演。JOP A (日本海外演奏協会) 演奏会員。



奥村 昌見 (ソプラノ)

洗足学園大学卒業。同専攻科修了。同大オペラ「マルタ」〈マルタ〉、「コシ・ファン・トゥッテ」〈デスビーナ〉、「フィガロの結婚」〈スザンナ〉、神奈川県新人演奏会に出演。日本オペラ協会では「唐人お吉」〈お福〉、「袈裟と盛遠」〈勢至菩薩〉、「天守物語」〈亀姫〉、「死神」のタイトル・ロール、「祝い歌の流れる夜に」〈みどり〉など、期待に応える好演をみせた。また日生劇場20周年記念公演「フィガロの結婚」では〈スザンナ〉のスタンドインと〈花娘〉に出演するなど意欲的に活動している。NHK洋楽オーディションに合格、「午後のリサイタル」に出演。日本オペラ協会会員。

宇佐美敏子 (メゾ・ソプラノ)

国立音楽大学声楽科卒業。麻生貞幸、武岡鶴代、川内澄江の各氏に師事。楡の会会員。日伊音楽協会正会員。



田中 純子 (ソプラノ)

洗足学園大学音楽部声楽科卒業。同専攻科修了。1978年、西ドイツ・国立シュトゥットガルト音楽大学卒業。西ドイツでは、教会等のコンサートにてモーツァルトの「レクイエム」、メンデルスゾーンの「詩篇」、バッハのカンタータ等のソロを歌った。日本オペラ協会「春琴抄」「天守物語」、藤原歌劇団「修道女アンジェリカ」等オペラ公演に出演。東京ゾリステンとは1979年10月、カンタータNo.209、1980年10月農民カンタータを協演。1980年2月リサイタルを開き好評を博す。1983年7月東京ゾリステンとカンタータNo.202協演。声楽を中山悌一、毛利純子、島田恒輔、ローレ・フィッシャー、ブルース・アーベル、リード解釈をコンラート・リヒター、発音学をウタ・クッター、クリスタ・ファンメルの各氏に師事。オペラ・アリアコンサート・ジョイント・コンサート等多々出演。洗足学園大学音楽部勤務。日本オペラ振興会会員。



宮前 治子 (ソプラノ)

東京芸術大学卒業。関種子、中山悌一両氏に師事。昭和50年より、ミュンヘン国立音楽大学に留学。エルンスト・ヘフリガー教授に師事。その間、ベルン大聖堂において「マタイ受難曲」の第1の婢女をうたう。52年帰国後、東京ゾリステンとのコンチェルトシリーズに出演、現在まで、その他、ジョイントリサイタルなどに数回出演している。現在、文教大学音楽科講師。二期会会員。



出演者プロフィール 〈出演順〉



中村 明子 (ソプラノ)

国立音楽大学声楽科卒業。阿部富美子、菊池美樹子両氏に師事。二期会準会員、日本オペラ振興会準会員。JOPA (日本海外演奏協会) 会員。



細越 涼子 (メゾソプラノ)

武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業。大藪きみ、高田作造、菊池美樹子各氏に師事。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第3期研究生終了。



渡辺 康宏 (テノール)

国立音楽大学声楽科卒業。大藪きみ、布施隆治、高田作造各氏に師事。JOPA会員。



仁科 岡彦 (バリトン)

自由学園大卒業。武蔵野音楽短大卒業。大賀寛、森敏孝両氏に師事。第50回読売新人演奏会出演。日本オペラ協会公演「三人の女達の物語」の次郎、「葵上」の前駆、今年10月の芸術祭主催公演「祝い歌の流れる夜に」の博役を好演。他「暗い鏡」「天守物語」「春琴抄」「死神」「あだ」「唐人お吉」「ルチア」「カアリュールバー」等多くのオペラのコーラスに出演。また小劇場での「魔笛」「ドンジョバンニ」「ラ・ボエーム」等のオペラにも意欲的に出演している。自由学園教諭、二期会準会員、日本オペラ協会会員。

高橋久仁子 (ピアノ)

国立音楽大学附属中学、高等学校卒業。中学、高校卒業演奏会出演。国立音楽大学入学。現在同大学ピアノ科2年在学中。種田靖子、鷺見尚保、三浦明子、足立範子、藤沢克江の各氏に師事。



小澤 英世 (ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。安川加寿子、金沢桂子の両氏に師事。昭和57年桃華楽堂演奏会に出演。昭和59年米沢市で演奏会を開く。昭和57年から昭和59年東北、四国、岐阜の各地で室内楽やソロのコンサートに出演好評を博す。現在、演奏活動の他に桐朋学園附属「子供のための音楽教室」の長野分室講師。

